

# 東京大学地域同窓会連合会ニュース「ただひとつ」 令和3年(2021年)01月号

第237号

発行日:2021年1月9日

## 【年末・年始の予定】

事務局は2021年1月6日(水)より事務局を開きましたが、緊急事態宣言の発令もあり、2月17日までは、テレワーク主体にして、事務局出社は最小限にします。緊急は長寄までメール

([nagasaki.utdosokairengokai@mbr.nifty.com](mailto:nagasaki.utdosokairengokai@mbr.nifty.com)) 又は電話 090-6001-0289 でお願いいたします。

## 【訃報】

1. 有馬朗人連合会会長 (1953・理) 2020年12月6日 心不全でご逝去。享年90歳。

故森亘前会長を継ぎ、2012年より在任、大学を支援できる強い全学同窓会を応援されていました。直前までお元気で、NHK パンデミック 激動の世界 (6)「“科学立国” 再生への道」に亡くなる2日前のインタビューが最後のメッセージとなりました(2020年12月20日放映)。

2. 土田晃道東京銀杏会事務局長・連合会事務局次長 (1967・工) 2020年12月22日 すい臓がんにてご逝去。享年76歳。

仕事は緻密、体力はワングル OB で、百名山登攀した頑強な心強い同僚でした。10月末に検査入院、在宅治療に移られてもオフィスにおいでになるなど、お元気な様子でしたが、あまりに早いご逝去でした。

(写真は2020年10月16日の全国大会:最前列右から2番目は有馬会長、最後列右か4番目は土田事務局長)

- \* 連合会本部が呆然とするような基幹人材の喪失で、同窓会業務等遅滞でご迷惑をおかけしております。早急な体制立て直しに努めておりますが、少し時間を頂きます。ご理解を頂くようお願い申し上げます。



## I 2021年 新年のご挨拶

### ◎ 東京大学同窓会連合会会長代行(東京銀杏会会長) 森田 富治郎 (1964・法)

#### 新年ご挨拶

2021年の新年を迎えました。本稿は本来であれば賀詞を以てご挨拶すべきところですが、本年は慣例を覆さざるを得ない事情が生まれました。その事情とは昨年末に当連合会関係の重要人物の訃報が相次いだことです。そのお一方は当連合会会長の有馬朗人様、もうお一方は東京銀杏会事務局長の土田晃道様です。従いまして、今回の年頭のご挨拶は、ご両所への追悼の辞から申し上げることをご了解いただきたいと存じます。

有馬元総長の昨年12月6日のご逝去につきましては、各報道機関にも大きく取り上げられました。先生は本来原子核物理学の世界的権威であられた方ですが、専門分野の研究だけでなく、広いご見識と調整能力が評価され、数多くの政府の諮問機関の委員を歴任されました。さらには政治の世界でも参議院議員、文部大臣、科学技術庁長官として活躍されました。別のお顔として、俳人としても著名な方でした。私共との接点では、多くの機会に2003年の国立大学法人化の意義と、一方でその後進化した運営費交付金の削減による大学運営の逼迫、若手研究者育成への影響、日本の科学研究水準の立ち遅れへの強い問題意識を訴えて来られました。

土田晃道様は急なご病気のため12月22日に逝去されました。土田さんの東京銀杏会事務局長としての献身的な活動には本当に頭が下がります。諸事万端水も漏らさぬ目配りで、事務局への信頼感を支えてくれました。その存在が大きかっただけ喪失感も大きく、今後の事務局体制について細心の対応が求められると思っております。

有馬様、土田様への惜別の思いは尽きませんが、今はただ、心よりご冥福をお祈り申し上げますばかりです。



昨年は、日本も世界もコロナとの戦いに追いまわられた1年でした。年末以降状況の厳しさが一段と増えています。目下の状況の迅速な終息、新たな社会の再構築、そのための人心・行動の集約への政治のリーダーシップ、それを支える知的パワーの集結。そこに、改めて大学の存在感が問われる時代であると思います。そしてまたそれを応援する同窓会の役割も見つめ直し、新しい姿を描いて行ければと願う次第です。

### ◎ 東京大学同窓会連合会 代表幹事 岡崎 一夫 (1962・法)

【東大らしい全学同窓会の具体化に向けて活動を進めましょう】

地域同窓会の皆様には、佳き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新年早々新型コロナウイルス問題が発生、瞬く間に全世界に拡大、日常生活のみならずあらゆる経済活動・文化活動に制限が加えられました。

同窓会活動につきましても、不要不急概念との調整・自粛警察との折り合いなどこれまで考えられなかった業務が増え、役員・幹事の皆様には大変ご苦勞頂いた年となりました。

2月から始まった活動の制限は3月に入ってほぼ全面的な活動自粛に至りましたが、時を置かずしてウィズコロナの活動の検討が始まりました。

東京銀杏会では6月の総会を3か月延期し、会場との慎重な打ち合わせを経て、9月23日に人数制限の下、定例総会の実施に踏み切りました。

同窓会連合会でもこの動きに合わせて、定例総会・幹事会の実施を決め、いろいろな制限はありましたが、総会を実施することが出来ました。

また10月16日には、リアルの会合とオンラインの会合を併用した第21回同窓会連合会全国大会において、大同団結への進展を報告することが出来ました。続いて11月7日埼玉銀杏会総会、11月21日鎌倉淡青会総会などが実施に至りました。

一方2018年から始まった同窓会連合会と校友会の大同団結への動きについては、2019年3月の「覚書」に基づいて発足したプロジェクトチームが、2020年3月17日「大同団結答申書」を公表、2030年に向けた第一次10年計画がスタート致しました。「東大らしい全学同窓会」の具体化に向け、当連合会は10月1日付で「地域同窓会連合会」と改称、同時に校友会に「地域同窓会本部」を設置、連合会事務局がその事務局を兼務しております。

東京大学では五神総長が任期6年の最終年に入りましたが、こうした大同団結の動きについて、10月30日五神総長・有馬会長定例ミーティング(藤井次期総長も出席)において意見交換の機会を得ることが出来、引き続き答申の路線に沿って推進していくことへのご理解をお願い致しました。本年はこの大同団結へ向けての活動を、一段と加速させる年にしたいと考えております。

12月6日、私たちの活動を強く支えて頂いた有馬朗人会長の突然の訃報に接し、驚愕致しました。

有馬会長は10月16日の同窓会連合会全国大会でも元気な声で全国に向けて発言され、10月30日五神総長との会合でも張りのある声で発言をして下さいました。あまりにも突然の訃報に、8年に亘って私どもを強力に支えて下さった御礼の言葉も申し上げられず、何とも残念ですが、今はただ安らかに眠り下さいよう祈念するばかりです。

12月22日、今度は同窓会連合会事務局次長土田晃道さんの突然の訃報が届きました。土田さんは東京銀杏会の事務局長としても14年に亘って東京銀杏会の激務を支え、本年9月のコロナ禍における総会の実施に向けて慎重且つ果敢な決断をされ、その無事な実行に貢献、同窓会連合会全国大会でも主導的な役割を積極的に果たして下さいました。土田さんの突然の旅立ちに、ただご冥福をお祈りするばかりなのが誠に残念です。

本年同窓会連合会は多難な運営が想定されますが、地域同窓会の皆様におかれましてはこの辺の事情をご賢察のうえ、どうか従来にも増してご理解とご支援のほど、宜しく願い申し上げます。本年も皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

### ◎ 東京銀杏会 代表幹事 岩村敬 (1969・法)

本年が平穏な一年となることを祈念します

昨年は、東京銀杏会にとっては大変な1年間でした。2月に始まる新型コロナウイルスによる感染症(COVID19)の蔓延に多くのイベントが中止又は中止となりました。さらに、年末には当会の運営にとってかけがえのない土田晃道事務局長の突然の訃報に会員一同大きな衝撃を受けました。また当会の総会に毎回顔をお見せいただいた連合会会長の有馬元総長の訃報も飛び込み、賀詞を申し上げることができません。



さて、本年に入ってもCOVID19の猛威はとどまることがありません。昨年末には現職の国会議員の命が奪われました。報道によれば検査が受けられなかったため、治療が遅れたことが原因だとも報じられています。政府は当初より検査を極めて限定的に運用をしていますが、自発的に検査を受ける市民が増え民間検査機関には予約が殺到しています。また自発的に検査を受ける理由は「症状はないが他人にウイルスをうつしたくないから」だという人が多くみられます。今年こそ政府は方針を転換し、容易に検査が受けられるようなシステムの構築を行うべきではないでしょうか。

#### ◎ 北海道銀杏会 会長 桑澤嘉英(1976・法)

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大で、企業も個人も大変大きな影響を受けました。特に北海道は、全国に先立って、2月28日に鈴木知事から「緊急事態宣言」が発令されて以降、行動制限が厳しくなり、北海道銀杏会の行事も、4月の定時総会や、定期講演会、秋の旅行会等を全て中止としました。

そのような中、10月に、地元の経済紙「財界さっぽろ」に、北海道で活躍している東京大学の卒業生の特集が2ページにわたって掲載されましたので、記事のコピーと、会長及び副会長3人の近況報告や、副会長が撮影した北海道の自然の写真を添付して、会員皆さんに送信し、リモートながらコミュニケーションを図っています。

今年はワクチンの接種も始まりますので、いずれは落ち着きを取り戻して、例年の活動を再開できると考え、準備をしていきたいと思っております。

今後は、大学や同窓会連合会からの情報を活用させていただき、北海道銀杏会の活動に役立ててまいりたいと思っております。本年も、よろしくお願いいたします。



#### ◎ 仙台赤門会 会長 渡辺 達美 (1983・法)

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスが終息せず、活動がままならない日々が続いています。東日本大震災から10年目の節目を、まさかこのような形で迎えるとは予想だにしませんでした。

思い返せば、東日本大震災の年に、迷いながらも敢えて開催したゴルフ大会では、沿岸被災地の地場産品を賞品にして、互いに元気づけあい、翌々年の在仙台東京6大学合同新春の集いでは、幹事校として6大学交流の機運を盛り上げ、3年後の総長を囲む懇談会では、多くの会員同士が絆を深めるなど、同窓会活動を途切れることなく続けてきました。同窓会として、世代や職種を超えた交流を通し、刺激を受け、元気をもらい、実際に顔を合わせるこの大切さを感じながら活動してきたこの10年間でした。

今は、そのような集まる機会をなかなか持てず、この不自由な状況はしんどいですが、我々は、あの震災も乗り越えてきた！今回のコロナ試練にも負けない！皆様、今年もどうぞよろしくお願いいたします。



#### ◎ 秋田銀杏会 事務局長 小峰正史 (1990・農)

新年明けましておめでとうございます。

秋田銀杏会は本年度で創設から6年目を迎えます。会員数は100名強ほどの小さな会ですが、毎年11月に総会を開き、講師をお招きしての講演会や会員の交流を行っています。

2020年度はCOVID-19の蔓延により、総会の開催は見送りとせざるを得ませんでした。秋田県の感染者数は全国的に見て少ない状況でしたが、高齢の会員が多く、また現役世代は勤務先から大人数が集まる集会への参加自粛が求められるなどもあり、中止を決断しました。本年もどのような状況になるか図りたいですが、万全な感染対策のもと総会の開催を目指します。

秋田銀杏会はこれまで会員の懇親を主としてきましたが、今後は会員のネットワークを活用した、秋田県の活性化につながる活動の起点に出来れば、と考えています。秋田県は少子高齢化や人口減少の進行が全国でもトップクラスに早く、地域社会の存続そのものが危ぶまれています。一大学の同窓会にできることは限られますが、会員の多くが産・学・官の多様な分野で活動しており、相互に連携することによって、



県勢再生に貢献できるシードを生み出せるはずです。秋田銀杏会が、単なる卒業生の懇親の場に留まることなく、新しいムーブメントを生み出す力となるよう活動の幅を広げてゆく所存です。

### ◎ 埼玉銀杏会 会長 岩淵 均(1972年・養)

東京大学同窓会連合会の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年度の総会にて埼玉銀杏会の会長に就任しました岩淵均と申します。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で、例年活発に活動していたゴルフ部、旅行部、囲碁部を始めとして殆どの会合や活動が中止なり延期になってしまいました。

その中で「3密」を避けつつ、講演会形式で行える「講話を聴く会」と「総会及び講演会」を開催することができました。「講話を聴く会」は埼玉県病院管理事業者の岩中督先生による「埼玉県の医療事情と子どもたちの未来」、総会時の講演は「東京大学第28代総長の小宮山宏先生による「プラチナ社会の実現～地球課題解決に向けた未来戦略～」でした。講演の様子や内容は、埼玉銀杏会のホームページや会報「公孫樹」などで紹介致します。

コロナワクチンはアメリカでは開発され既に接種も始まっており、日本でも接種が始まると思いますので、令和3年は、「活動再開の年」になることを期待しております。本年が皆様にとりまして良い年でありますことをお祈り申し上げます。



### ◎ 神奈川銀杏会会長 豊吉誠治(1980・工)

新年明けましておめでとうございます。皆様にはご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で、当会も活動の縮小を余儀なくされました。早い段階でオンライン方式を取り入れたことで、多くの分科会活動は従来方式より多くの参加者を得ることができ、会員数の増加にもつながりました。特記すべきことは、今回初のオンライン企画となったホームカミングデーで「神奈川銀杏会物語」の落語作品を出展致したことです。

本年もオンライン方式と対面方式の併用で、双方のメリットを生かした活動を推進してまいります。オンライン方式による三土会等の分科会には、他地域の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

いよいよ校友会・連合会との大同団結がスタートします。近隣の銀杏会としての役割を果たすべく協力致しますので、ご指導、ご支援をいただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



### ◎ 鎌倉淡青会会長 吉田和彦 (1961・工)令和3年賀詞

鎌倉淡青会会長 吉田和彦

新年明けましておめでとうございます。日頃からご支援を頂き御礼申し上げます。

平成15年(2003)に発足した鎌倉淡青会は、令和3年(2021)6月に設立18年目を迎えます。このところ数年間の会員数は250～260名前後で、大きな変動はありません。

昨年2月頃に始まった新型コロナウイルスが蔓延するまでは、同窓会活動は非常に活発でした。年次総会・新年会・見学会・三金会や市民が参加する公開セミナーなどの全体行事や、同好の士が集う11に及ぶ同好会(街道を歩く会・歴史散策・座禅・囲碁・テニス・ストレッチ・ヴォイストレーニング・書道など)のそれぞれの行事には多数の会員が参加しておりましたが、殆どが中止や延期に追い込まれました。

それでも何とか実施した全体行事としては年次総会・三金会、個々の同好会行事としてはテニス・ストレッチ・書道が挙げられます。コロナウイルス蔓延に対して参加会員の安全と安心が確保されることを見越して、いずれも実施或いは逐次再開に漕ぎつけた次第です。とくに三金会について従来は講演会形式の月例会でしたが、三密を避けるためにZoomを利用するオンラインの月例会としたことにより参加者数も格段に増加しました。

いずれにせよ会員の高齢化が歳を追って進んでおります。東京大学の学部卒業年次昭和39年という世代が200数十人の会員の中央値であることから、会員の平均年齢は80才前後と目されます。人生100年時代といわれますが、東京大学の数ある地域同窓会のうちで鎌倉淡青会が高齢化の先頭を切っている地域同窓会であると思えます。



令和3年の鎌倉淡青会の同窓会活動ですが、コロナウイルス蔓延状況如何に大きく支配されると考えています。安全と安心が確保されると見込まれる時期が到来すれば同窓会活動も大幅に再開されるので、従来の活発な状況を取り戻す筈です。しかしながら再開の時期が遅れば遅れるほど会員の高齢化が更に進み、活発な活動状況を取り戻せなくなるのではないかと恐れている次第です。取りあえずは何とか実施或いは再開に漕ぎつけた同窓会活動を継続しながら、更に再開可能な活動を模索することになると見込んでいます。

とくに三金会については新しい形式であるZoomを利用するオンラインとリアル併用の検討し、会員の参加率を上げることに繋げることが出来ればと期待しています。

将来を考えれば若手会員の増強は大事ですが、世相からみてなかなかむづかしいのが現状です。これについては会員の皆さんの知恵を借りたいと考えています。

いずれにせよ令和5年(2023年)には鎌倉淡青会は設立20周年を迎えます。記念行事をどうするかなども視野に入れつつ、同窓会活動の発展を期したいと思います。よろしくご支援をお願い申し上げる次第です。

この賀詞を同窓会連合会事務局に提出する直前に、同窓会連合会長の有馬朗人氏及び同窓会連合会事務局次長の土田晃道氏が逝去された由との連絡がありました。いろいろ御世話になったお二人に謹んでお悔みを申し上げるとともに、心よりご冥福をお祈りするばかりです。

### ◎ 山梨銀杏会 事務局長 風間 正利 (2010・修・新領域創成科学)

あけましておめでとうございます。

2020年は新型コロナウイルスにより、生活が大きく変わりました。本会におきましても、定例会が延期となり、落ち着きを取り戻すまで開催を待っている状態です。

しかしながら、新型コロナウイルス対策において山梨大学医学部附属病院の指揮を執られている山梨大学の島田眞路学長(本会会長)、山梨県でリーダーシップを発揮されている長崎幸太郎知事、医療従事者の方々、不安な学生を親身になってサポートする教員の方々など、本会のメンバーがそれぞれの地域で社会を支える活動をしていることを大変嬉しく思います。

2021年は本会も新しい活動方法を模索していきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願い致します。株式会社 おせつ甲斐 代表取締役社長風間 正利 (甲斐国、山梨県におせつ甲斐(かい)しています。)

Tel 090-9393-0231 Mail [mail@kazama.tv](mailto:mail@kazama.tv) Web <https://y-osekkai.com>



### ◎ 浜松銀杏会 会長 北脇 保之 (1974・法)

昨年浜松銀杏会は新型コロナウイルスのため全く活動ができませんでした。

そのような中、12月には本会名誉会長をお引き受けいただいていた、元東大総長、元文部大臣、公立学校法人静岡文化芸術大学理事長の有馬朗人先生がお亡くなりになりました。先生は小学校途中から旧制中学(浜松一中=現浜松北高)卒業まで過ごされた、浜松の地に強い郷土愛をお持ちでした。浜松銀杏会では、一昨年の総会で、日本の学術・教育について憂国の情溢れるご講演をいただいたことが昨日のここのように思い出されます。当会として先生のご遺志を今後の会の活動に活かしていく所存です。

本年は新型コロナウイルスが1日も早く終息し、各地域東大同窓会が通常の活動を再開できるようお願いしています。



### ◎ 東海銀杏会 事務局長 清水 順二 (1974・工)

日頃は同窓会活動に並々ならぬご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

ことはコロナで明けコロナで暮れる1年となりました。東海銀杏会では昨年の2月には滑り込みで総会を開催できましたが、その直後から一切の活動が停止状態となり、役員幹事一同途方に暮れた年となりました。そうした中で連合会の全国大会がハイブリッドで開催されましたことはわれわれ地域同窓会にも大きな励みでありました。

東海銀杏会では本年2月15日の総会をどのようにすべきか役員幹事の意見を求めましたが、ほとんどが開催は難しいので書面決議でとの意見でした。その中であって水野会長から、懇親会は無理でも総会と講演会はオンライン

で開催できないだろうかとの呼びかけがあり、検討の結果、東海銀杏会でもハイブリッドによる開催となりました。詳細のご案内は年明けとなりますが、連合会の皆さまにはオンラインでのご出席をよろしくお願いいたします。

ことしもあと僅かとなりましたが、連合会の皆さまにもくれぐれも恙なく(コロナなく)新しい年をお迎えくださるようご祈念申し上げます。

#### ◎ 関西東大会会長 北 修爾(1966・経)

皆さま、コロナ禍のお正月ですが、明けましておめでとうございます。

ご多分に漏れず関西東大会の行事もコロナ感染症の流行に影響を受けています。早くこのような状況から脱皮し、いつもの日常生活を取り戻したいと祈念しています。

関西東大会は志のある先輩達が三十余年前に設立し、今に残してくれた大事な器だと思います。歴史を振り返ると会員数が千名を超えていた時期もあったのですが、現在は四百名余。会員の拡充が目下の課題です。東大の卒業生の総数が18万人とし、関西にその1割がいてと仮定すると現況は2%強しか会員に登録されていないというお寒い状態です。

学会報や学友会の会報や進学が多い高校の名簿などにこのところ広告を出し、少なくとも関西には東大卒業生が集う同窓会があることを喧伝して、何かの機会に積極的に色々な行事に顔を出して貰うよう工夫しています。経験的に二人から入会へのお声がけをすると入会の確率が高いようです。総会や講演会などのほか趣味のゴルフ、テニス、囲碁、音楽など牽引するリーダーが熱心に活動してくれているのは心強いです。

大学当局が、我々が地道に活動してきた各地の同窓会活動を多とし、学友会活動の一環に組み入れ、連携して進むことになった意義は大きいと思います。東大に学んだ縁を大事に、大学を盛り立て同窓の絆を大切にしていこうではありませんか。



#### ◎ 兵庫東大会 会長 西村 文茂(1973・法)

全国の地域同窓会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

兵庫東大会は、平成11年(1999年)2月に創立され、今年は、創立22年になります。現在の会員数は、約200名、最近の例会出席者は約60名です。これまで、28回の例会を開催していますが、90代の大先輩から卒業間もない若手の方まで幅広い年代の卒業生が出席する楽しい例会を続けています。

兵庫東大会は、毎年、2月に例会を、秋にハイキング等の親睦活動を開催してきましたが、コロナ感染症のため、昨年は、例会、親睦活動いずれも開催できませんでした。緊急事態宣言が解除され少し落ち着いたので、8月末にミニ講演会を企画したのですが、コロナ感染症の第二波流行により開催できませんでした。

今年は、2月は難しいとしても、ワクチン接種による集団免疫に期待し、秋から年末頃に、何とか例会を開催したいと考えています。

連合会の皆様、地域同窓会の皆様には引き続き、ご指導、ご厚誼下さいますようお願いいたします。最後になりましたが、全国の地域同窓会の更なる御発展と皆様のご健勝をお祈りします。

#### ◎ 岡山東大会)会長 河原 昭文(1964・法)

あけましておめでとうございます。といっても、昨年は新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。

岡山東大会も、1月に新年会をただけで終わりました。安倍、トランプが退陣し、菅、バイデン時代になりましたが、コロナを含めて、明るい見通しが立ちません。それでも、一人一人力を尽くして、新しい年を少しでもいい年にしていこうではありませんか。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

#### ◎ 大分赤門会 事務局長 生野 裕一(2001・法)

明けましておめでとうございます。

昨年は、恒例の東京六大学OBゴルフ大会が延期となってしまったことに始まり、大分赤門会の総会を開催することができない1年になってしまいました。皆様お元気ででしょうか。

今年は新たな試みとして、お隣の宮崎赤門会の皆様と3月中旬にゴルフ対抗戦を開催する予定です。今後の定例行事にしていきたいと思っています。まずは、第1回が無事に開催できる状況になっていることを願っています。

そして、翌月の4月29日(木・祝)には、昨年延期となった恒例の東京六大学OBゴルフ大会・表彰式が開催される予定です。一昨年は惜しくも2位に終わりましたが、今年は優勝を目指しております。大分赤門会では、新入会員の方を随時募集していますので、何か情報がございましたら、shono@agora-jp.com までご連絡よろしくお願ひします。今年もよろしくお願ひします。

#### ◎ 長崎銀杏会 事務局長 鳥巢 維文 (1974・経)

旧年中は各地の同窓会もコロナ禍の中で運営に苦慮されたかと拝察いたしますが、令和3年が平穩な年に戻りますように祈念します。

長崎銀杏会では従来通り”無理をしない運営”を心がけ、会員の懇親事業を行います。

#### ◎ 鹿児島銀杏会 会長 福元 伸一 (1984・法)

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

昨年4月に鹿児島銀杏会の会長に就任しました福元伸一です。鹿児島銀杏会は、平成6年に発足し、現在会員数96名で活動しております。

昨年から新しい役員体制のもと、毎年恒例の総会・懇親会に加え、新たにゴルフコンペを企画する予定でしたが、新型コロナウイルスの問題から実現することがかないませんでした。

しかし、昨年は同窓生の活躍めざましい年となり、7月の鹿児島県知事選で塩田康一知事(昭和63年法学部卒)が、11月の鹿児島市長選で下鶴隆央市長(平成16年法学部卒)が誕生しました。塩田知事、下鶴市長のご活躍が今年の鹿児島銀杏会をさらに盛り上げてくれるに違いありません。

本年の干支である丑(うし)は、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています。日本のみならず世界を取り巻く新型コロナウイルスの脅威が終息する兆しはまだ見えませんが、鹿児島銀杏会の懇親の輪を広げるべく、焦らずゆっくり着実に職務に邁進する所存でございますので、皆様方におかれましては、従前と変わらぬご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願ひ申し上げます。

末筆ながら、新しい年が、鹿児島銀杏会にとってより良い年となり、また、連合会の皆様にとっても素晴らしい年でありますよう心より祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

